

ケトプロフェン外用剤（一般用）の
添付文書

ご使用に際して、この添付文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

肩こりに伴う肩の痛み・腰痛・関節痛に

イパスゲル

外用鎮痛消炎剤

【特 徴】

- イパスゲルは、医療用として優れた抗炎症・鎮痛効果が認められている「ケトプロフェン」を主成分とした外用鎮痛消炎剤です。
- 皮膚表面に皮膜を形成するゲル剤なので、浸透性に優れています。
- べたつかず、サラッとした使用感です。

△ 使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等を含む)を起こしたことがある人。
- (2) ぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 次の医薬品によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート
- (4) 次の添加物によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。オキシベンゾン
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (6) 15歳未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

- (1) 目の周囲、粘膜等。
- (2) 湿疹、かぶれ、傷口。
- (3) みずむし、たむし等又は化膿している患部。

3. 本剤の使用中は、天候にかかわらず、戸外活動を避けるとともに、日常の外出時も本剤の塗擦部を衣服、サポーター等、通気性のもので覆い、紫外線に当てないでください。なお、塗擦後も当分の間、同様の注意をしてください。(紫外線により使用中又は使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがあります。)

4. 長期連用しないでください

相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (3) 薬や化粧品等によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 使用中又は使用後、次の症状があらわれた場合。
まれに重症化して発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があるので、下記の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、患部を遮光して医師の診療を受けてください。なお、使用後しばらくしてから症状があらわれることがあります。また、紫外線により症状があらわれたり、悪化したりすることがあります。

(必ず裏面もお読みください)

医薬品

関係部位	症 状
皮膚(患部)	発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水疱、ただれ、色素沈着、皮膚乾燥
まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。	
症状の名称	症 状
アレルギー	胸苦しさ、むくみ、じんましん、発疹等があらわれる。
接触皮膚炎、光線過敏症	塗擦部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱、ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもある。
(2) 1週間程度使用しても症状がよくなる場合。	

【効能・効果】

筋肉痛、腰痛、関節痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、打撲、捻挫、肘の痛み(テニス肘など)、肩こりに伴う肩の痛み

【用法・用量】

1日4回を限度として適量を患部に塗擦してください。

<用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- (3) 外用にのみ使用してください。
- (4) 1週間あたり50gを超えて使用しないでください。
- (5) ラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。
- (6) 使用後は手を洗ってください。

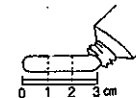
ご使用のアドバイス

- 1日1~4回、痛み所とその周辺、関節部位はその周囲全体に塗ってください。

(使用量の目安) 指など……………1cm弱

手首、ひじなど……………1~2cm

肩、腰、ひざなど……………2~3cm



【成分・分量】

100g中 ケトプロフェン……………3g
添加物:エタノール、マクロゴール、カルボキシビニルポリマー、ジイソプロパノールアミン、ピロ亜硫酸Na

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 本剤が机、床、家具等の塗装面に付着すると変色することがありますので、取扱いに注意してください。
- (5) 外箱に表示の使用期限内に使用してください。また、使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

お問い合わせ先

高市製薬株式会社 お客様相談室 ☎ 0744-54-2514(土日祝祭日を除く 9:00~17:00)

製造販売元 高市製薬株式会社

奈良県高市郡明日香村野口10

*2010年3月に改訂しました。

ご使用に際して、この添付文書をよくお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

関節痛・腰痛・筋肉痛

第2類医薬品

エパテックAゲル

経皮鎮痛消炎剤

〔特 徴〕

- 筋肉痛や関節痛、腰痛などの不快な痛み、優れた効果を発揮します。
- 患部に直接塗るだけで素早く吸収し、痛みをやわらげます。
- べたつかず、サラッとした使い心地です。

⚠ 使用上の注意

■ **⊗**
(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

- (1)本剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等を含む)を起こしたことがある人。
- (2)ぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)次の医薬品によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート
- (4)次の添加物によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
オキシベンゾン
- (5)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (6)15才未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

- (1)目の周囲、粘膜等。
- (2)湿疹、かぶれ、傷口。
- (3)みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 本剤の使用中は、天候にかかわらず、戸外活動を避けるとともに、日常の外出時も本剤の塗擦部を衣服、サポーター等で覆い、紫外線に当てないでください。なお、塗擦後も当分の間、同様の注意をしてください。(紫外線により、使用中又は使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがあります。)

4. 長期連用しないでください

■ **⊗**
1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (3)薬や化粧品等によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1)使用中又は使用後、次の症状があらわれた場合
まれに重症化して発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があるので、下記の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、患部を遮光して医師の診療を受けてください。なお、使用後しばらくしてから症状があらわれることがあります。また、紫外線により症状があらわれたり、悪化したりすることがあります。

関係部位	症 状
皮 膚 (患部)	発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水疱・ただれ、色素沈着、皮膚乾燥

(必ず裏面もお読みください)

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
* ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
接触皮膚炎、 光線過敏症	塗擦部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもある。

(2) 1週間程度使用しても症状がよくなる場合

〔効能・効果〕

筋肉痛、関節痛、腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、肘の痛み(テニス肘など)、腱鞘炎(手・手首の痛み)、打撲、捻挫

〔用法・用量〕

1日4回を限度として適量を患部に塗擦してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。
なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- (3) 外用にのみ使用してください。
- (4) 1週間あたり50gを超えて使用しないでください。
- (5) ラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。
- (6) 使用後は手を洗ってください。



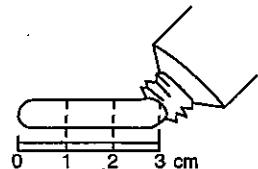
ご使用のアドバイス

- 1日1～4回、痛い所とその周辺、関節部位はその周囲全体に塗ってください。



〔使用量の目安〕

指など 1cm弱
手首、ひじなど 1～2cm
肩、腰、ひざなど 2～3cm



〔成 分〕

1g中

ケトプロフェン 30mg
添加物として、フェニルエチルアルコール、エタノール、アジピン酸ジイソプロピル、カルボキシビニルポリマー、オキシベンゾン、シブチルヒドロキシトルエン、ジイソプロパノールアミン、プロピレングリコール、ヒドロキシプロピルセルロース及び香料を含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4) 本剤が机、床、家具等の塗装面に付着すると変色することがありますので、取扱いに注意してください。
- (5) 火気に近づけないでください。また、使用後は火中に投げないでください。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

TEL 03-3661-2080 (ダイヤルイン)

受付時間 9:00～17:50 (土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

フリーダイヤル ☎0120-149-931



製造販売元

ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小舟町10-11



Self-Medication -3-C10

エパテックAゲル

ご使用に際して、この添付文書をよくお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

関節痛・腰痛・筋肉痛

第2類医薬品

エパテックAクリーム

経皮鎮痛消炎剤

〔特 徴〕

- 筋肉痛や関節痛、腰痛などの不快な痛みに、優れた効果を発揮します。
- 患部に直接塗るだけで素早く吸収し、痛みをやわらげます。
- べたつかず、サラツとした使い心地です。

⚠使用上の注意

⊗
 (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

- (1)本剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等を含む)を起こしたことがある人。
- (2)ぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)次の医薬品によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート
- (4)次の添加物によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
オキシベンゾン
- (5)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (6)15才未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

- (1)目の周囲、粘膜等。
- (2)湿疹、かぶれ、傷口。
- (3)みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 本剤の使用中は、天候にかかわらず、戸外活動を避けるとともに、日常の外出時も本剤の塗擦部を衣服、サポーター等で覆い、紫外線に当てないでください。なお、塗擦後も当分の間、同様の注意をしてください。(紫外線により、使用中又は使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがあります。)

4. 長期連用しないでください

⊗
 1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (3)薬や化粧品等によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1)使用中又は使用後、次の症状があらわれた場合
まれに重症化して発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があるので、下記の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、患部を遮光して医師の診療を受けてください。なお、使用後しばらくしてから症状があらわれることがあります。また、紫外線により症状があらわれたり、悪化したりすることがあります。

関係部位	症 状
皮 膚 (患部)	発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水疱・ただれ、色素沈着、皮膚乾燥

(必ず裏面もお読みください)

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
* ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさがあらわれる。
接触皮膚炎、 光線過敏症	塗擦部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもある。

(2) 1週間程度使用しても症状がよくなる場合

〔効能・効果〕

筋肉痛、関節痛、腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、肘の痛み
(テニス肘など)、腱鞘炎(手・手首の痛み)、打撲、捻挫

〔用法・用量〕

1日4回を限度として適量を患部に塗擦してください。

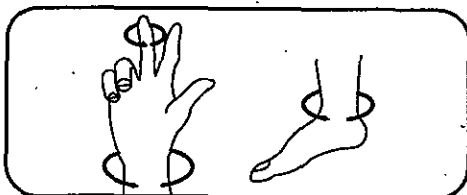
〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。
なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- (3) 外用にのみ使用してください。
- (4) 1週間あたり50gを超えて使用しないでください。
- (5) 使用後は手を洗ってください。



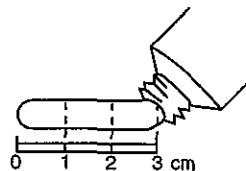
ご使用のアドバイス

- 1日1～4回、痛い所とその周辺、関節部位はその周辺全体に塗ってください。



〔使用量の目安〕

指など 1 cm弱
手首、ひじなど 1～2 cm
肩、腰、ひざなど 2～3 cm



〔成 分〕

1g中

ケトプロフェン 30mg
添加物として、ミリスチン酸イソプロピル、アジピン酸ジイソプロピル、カルボキシビニルポリマー、グリセリン脂肪酸エステル、ポリオキシエチレンソルビタンモノステアレート、ポリオキシエチレンステアリルエーテルリン酸、ポリオキシエチレンオレイルエーテルリン酸ナトリウム、オキシベンゾン、シブチルヒドロキシルエン、プロピレングリコール、パラオキシ安息香酸プロピル、パラオキシ安息香酸メチル、トリエタノールアミン、香料及びメントールを含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
TEL 03-3661-2080 (ダイヤルイン)
受付時間 9:00～17:50 (土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
フリーダイヤル ☎0120-149-931

製造販売元
ゼリア新薬工業株式会社
東京都中央区日本橋小舟町10-11



Self-Medication
エパテックA5 C10
エパテックA5クリーム

ご使用に際して、この添付文書をよくお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

関節痛・腰痛・筋肉痛

第2類医薬品

エパテック[®]A ローション

さわやかローション〔経皮鎮痛消炎剤〕

〔特 徴〕

- 筋肉痛や関節痛、腰痛などの不快な痛みに、優れた効果を発揮します。
- 患部に直接塗るだけで素早く吸収し、痛みをやわらげます。
- べたつかず、サラッとした使い心地です。

⚠ 使用上の注意

⊗
 (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください

- (1)本剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等を含む)を起こしたことがある人。
- (2)ぜんそくを起こしたことがある人。
- (3)次の医薬品によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート
- (4)次の添加物によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
オキシベンゾン
- (5)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (6)15才未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください

- (1)目の周囲、粘膜等。
- (2)湿疹、かぶれ、傷口。
- (3)みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 本剤の使用中は、天候にかかわらず、戸外活動を避けるとともに、日常の外出時も本剤の塗布部を衣服、サポーター等で覆い、紫外線に当てないでください。なお、塗布後も当分の間、同様の注意をしてください。(紫外線により、使用中又は使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがあります。)

4. 長期連用しないでください

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (3)薬や化粧品等によりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

- (1)使用中又は使用後、次の症状があらわれた場合
まれに重症化して発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合があるので、下記の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、患部を遮光して医師の診療を受けてください。なお、使用後しばらくしてから症状があらわれることがあります。また、紫外線により症状があらわれたり、悪化したりすることがあります。

関係部位	症 状
皮 ふ (患部)	発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水疱・ただれ、色素沈着、皮膚乾燥

(必ず裏面もお読みください)

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
* ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
接触皮膚炎、 光線過敏症	塗布部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもある。

(2) 1週間程度使用しても症状がよくならない場合

〔効能・効果〕

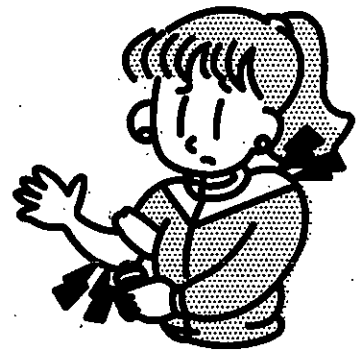
筋肉痛、関節痛、腰痛、肩こりに伴う肩の痛み、肘の痛み
(テニス肘など)、腱鞘炎(手・手首の痛み)、打撲、捻挫

〔用法・用量〕

1日4回を限度として適量を患部に塗布してください。

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。
なお、症状が重い場合には眼科医の診療を受けてください。
- (3) 外用にのみ使用してください。
- (4) 1週間あたり50mLを超えて使用しないでください。
- (5) ラップフィルム等の通気性の悪いもので覆わないでください。
- (6) 使用後は手を洗ってください。



ご使用のアドバイス

- 1日1～4回、痛い所とその周辺、関節部位はその周囲全体に塗ってください。



〔使用量の目安〕

1回あたり… 2～3度重ね塗りします。
使用回数… 症状により異なりますが、
1日3～4回が目安です。

〔成 分〕

1mL中

ケトプロフェン……………30mg
添加物として、フェニルエチルアルコール、エタノール、アジピン酸ジイソプロピル、ポリオキシエチレン(20)ポリオキシプロピレン(4)セチルエーテル、オキシベンゾン、ジブチルヒドロキシトルエン、パラオキシ安息香酸プロピル、1,3-ブチレンジグリコール、トリエタノールアミン、ヒドロキシエチルセルロース、香料、パラオキシ安息香酸メチル及びトメントールを含有する。

〔保管及び取扱い上の注意〕

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して立てて保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる)。
- (4) 本剤が机、床、家具等の塗装面に付着すると変色することがありますので、取扱いに注意してください。
- (5) 火気に近づけないでください。また、使用後は火中に投じないでください。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

お問い合わせ先

本剤のご使用により、変わった症状があらわれるなど、何かお気付きの点がございましたら、お買い求めのお店又は下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。

ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室
TEL 03-3661-2080 (ダイヤルイン)
受付時間 9:00～17:50 (土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
フリーダイヤル ☎0120-149-931



製造販売元

ゼリア新薬工業株式会社

東京都中央区日本橋小舟町10-11

エパテックはゼリア新薬工業株式会社の登録商標です。



Self-Medication -7-C10
エパテックAローション

ご使用に際して、この説明書きをお読みください。また、必要な時に読むように大切に保管してください。

第1類医薬品

オキシベンゾン

【特長】

● 腫痛、肩こりに伴う肩の痛みなどに、ケトプロフェンとメメントールのWの働きで優れた効果を発揮します。

△ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

1. 次の人は使用しないでください。
(1) 本剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
(2) ぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 次の医薬品によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
チアプロフェン酸、スプロフェン、フェノフィブラート
- (4) 次の添加物によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。
オキシベンゾン
- (5) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (6) 15歳未満の小児。

2. 次の部位には使用しないでください。
(1) 目の周囲、粘膜等。(2) 傷口。(3) 湿疹、かぶれ。
(4) みずむし・たむし等又は化膿している患部。

3. 本剤の使用中は、天候にかかわらず、戸外活動を避けるとともに、日常の外出時も本剤の貼付部を衣服、サポーター等で覆い、紫外線に当てないでください。なお、使用後も当分の間、同様の注意をしてください。(紫外線により、使用中又は使用後しばらくしてから重篤な光線過敏症があらわれることがあります。)

4. 長期連用しないでください。

⊗ 相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
(3) 薬や化粧品等によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(4) 高齢者。
2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この箱を持って医師又は薬剤師に相談してください。
(1) 使用中又は使用后、次の症状があらわれた場合
まれに重症化して発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がる場合がありますので、次の症状があらわれた場合は直ちに使用を中止し、患部を

避光して医師の診療を受けてください。なお、使用後しばらくしてから症状があらわれることがあります。また、紫外線により症状があらわれ、悪化したりすることがあります。

関係部位	症 状
皮膚 (患部)	発疹・発赤、かぶれ、かゆみ、はれ、刺激感、水疱・ただれ、色素沈着、皮膚乾燥

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しき等があらわれる。
接触皮膚炎、 光線過敏症	貼付部に強いかゆみを伴う発疹・発赤、はれ、刺激感、水疱・ただれ等の激しい皮膚炎症状や色素沈着、白斑があらわれ、中には発疹・発赤、かゆみ等の症状が全身に広がることもある。

(2) 1週間程度使用しても症状がよくならない場合

【効能・効果】 関節痛、腫痛、肩こりに伴う肩の痛み、肘の痛み(テニス肘など)、筋肉痛、腱鞘炎(手・手指の痛み)、打撲、捻挫

【用法・用量】	15歳以上	15歳未満
	プラスチックフィルムをはがし、1日2回を限度として患部に貼付してください。	使用しないでください。

＜用法・用量に関連する注意＞

- (1) 汗をかいたり、患部がぬれている時は、よく拭きとってから使用してください。
- (2) 皮膚の弱い人は、使用前に腕の内側の皮膚の弱い箇所から、1~2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用してください。

【成分・分量】 膏体100g(1400cm²)中
ケトプロフェン……0.300g エーメントール……0.500g
添加物として、クロタミトン、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ミリスチン酸イソプロピル、CMC-Na、ポリアクリル酸部分中和物、カオリン、酸化チタン、グリセリン、エデト酸Na、ゼラチン、pH調整剤、その他3成分を含有する。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になつたり品質が変わる場合があります。)
- (4) 品質保持のため、未使用分は袋に入れ、密封口のチェックをきちんとし、外気にふれないように入れてください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。

＜包装＞

18枚入(6枚×3袋) 1枚:14cm×10cm



使用中および使用後少なくとも4週間は貼付部を紫外線にあてないでください。

副作用被害救済制度
☎0120-149-931

＜お問い合わせ先＞
帝國製薬株式会社 お客様相談室
電話 (0879) 25-2363
受付時間 9:00~17:00
(土・日・祝日を除く)



ここを押して開けて下さい。

